

第11回エコパークかごしま安全監視委員会 会議概要

1 開催日時

令和元年8月27日（火） 午後2時から午後3時まで

2 開催場所

薩摩川内市（エコパークかごしま管理棟会議室等）

3 出席者

(1) 出席委員 11名（委員数 13名）

川永野自治会：有馬 茂

木場茶屋自治会：岩元 秀行，梶 辰朗

百次大原野自治会：塘之口 勇，村尾 寛

東大谷自治会：和田 岩男，岩月 春美

学識経験者：樋口 壮太郎 福岡大学大学院教授（委員長代理）

北村 良介 鹿児島大学名誉教授

本間 俊雄 鹿児島大学大学院教授

薩摩川内市：上口 敬子 薩摩川内市市民福祉部環境課長

(2) 事業者

（公財）鹿児島県環境整備公社

(3) 事務局

鹿児島県環境林務部廃棄物・リサイクル対策課

4 会次第

(1) 開会

(2) 議事

ア 廃棄物の搬入状況について

イ 埋立状況について

ウ 環境モニタリング実施状況について

エ その他

(3) 閉会

5 会議概要

(1) （公財）鹿児島県環境整備公社から、産業廃棄物管理型最終処分場「エコパークかごしま」の廃棄物の搬入状況，埋立状況，環境モニタリング実施状況について概況説明を行うとともに，覆蓋施設内で委員が埋立作業の実施状況の現地確認を行った。

(2) 委員会として，「エコパークかごしま」が安全に稼働していることを確認した。

6 主な質疑応答

- ・ 有機性汚泥の搬入量はどれくらいか。

→ 建設汚泥等の無機性のものがほとんどであり，有機性汚泥としては，下水道汚泥が1か月当たり約20トン～30トン搬入されている。

- ・ 散水に使用している水は、何を使っているのか。
→ 浸出水を処理して循環利用している。
- ・ 埋立層内からのメタンガスの発生はないか。
→ 埋立層内に敷設した通気管や強制排気ファンにより、埋立層内に酸素を供給できる構造となっており、メタンガスが発生しにくい環境になっている。

7 資料

- (1) 廃棄物の搬入状況について
- (2) 埋立状況について
- (3) 環境モニタリング実施状況について



第11回エコパークかごしま安全監視委員会

会 次 第

日時：令和元年8月27日（火）午後2時～

場所：エコパークかごしま管理棟会議室等

1 開 会

2 議 事

- (1) 廃棄物の搬入状況について
- (2) 埋立状況について
- (3) 環境モニタリング実施状況について
- (4) その他

3 閉 会

第11回エコパークかごしま安全監視委員会 出席者名簿

区 分	所 属 ・ 職	氏 名	出 欠	備 考
委 員	川永野自治会	有 馬 純 郎	×	
	〃	有 馬 茂	○	
	木場茶屋自治会	岩 元 秀 行	○	
	〃	梶 辰 朗	○	
	百次大原野自治会	塘 之 口 勇	○	
	〃	村 尾 實	○	
	東大谷自治会	和 田 岩 男	○	
	〃	岩 月 春 美	○	
	鹿児島工業高等専門学校 名誉教授	平 田 登 基 男	×	委員長
	福岡大学大学院 教授	樋 口 壯 太 郎	○	委員長代理
	鹿児島大学 名誉教授	北 村 良 介	○	
	鹿児島大学大学院 教授	本 間 俊 雄	○	
	薩摩川内市市民福祉部環境課 課長	上 口 敬 子	○	

公 社	(公財) 鹿児島県環境整備公社 理事長	山 下 隆 志
	〃 顧問	新 川 龍 郎
	〃 専務理事兼事務局長	川 畑 浩 志
	〃 事務局次長兼総務課長	中 尾 洋 一
	〃 業務課長	野 田 俊 一
維持管理ＪＶ	大成・クボタ環境特定維持管理ＪＶ 総括責任者	鎌 田 励 輝
	〃 水処理責任者	伊 藤 圭
事 務 局	鹿児島県環境林務部廃棄物・リサイクル対策課 参事（公共関与処分場担当）	池 上 成 孝
	〃 主幹	土 瀬 戸 信 勝
	〃 主事	加 治 屋 奎 太